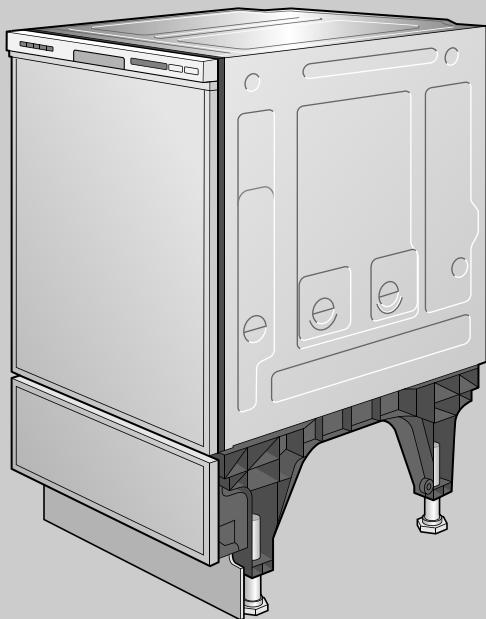


取付設置説明書

食器洗い乾燥機 45 cm幅シリーズ

品番

NP-45MD6シリーズ
NP-45VD6シリーズ
NP-45RD6シリーズ



取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取付設置してください。
特に「安全上のご注意」(2~3ページ) は、取付設置前に必ずお読みください。

特定保守製品

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと寸法	4
■ 付属品の確認	5
■ 設置場所の確認	6
● 片側がフリーの場合	
● L型コーナー部に設置する場合	
● 片側が壁面やトールユニットの場合	
電気工事	7
■ 電気工事を行う	
■ アース(接地)を行う	
● 漏電しゃ断器の設置について	
給水・排水工事	8
■ 給水・排水工事を行う	
● 給湯器について	
● 配管例	
・床立上げの場合・壁出しの場合	
・床ころがしの場合	
設置手順	10
① 台枠の組み立て	10
② 転倒防止金具の取り付け	10
③ 面材・パネルのボーダーBへの取り付け	11
・面材タイプの場合	
・パネル(化粧板)タイプの場合	
④ 台枠の高さ調整	12
⑤ 台枠の設置	12
⑥ コード類の束ね	14
⑦ 電源コード・アース線の接続	14
⑧ フィラーの取り付け(MD6タイプのみ)	15
⑨ 本体のビルトインとホースジョイントの接続	15
・床立上げ、壁出しの場合	
・床ころがしの場合	
⑩ 前ズレ防止金具の取り付け	16
⑪ ドアへの面材の取り付け	17
・面材タイプの場合	
・パネル(化粧板)タイプの場合	
⑫ 給湯(給水)管との接続・排水ホースの接続	18
試運転	20
■ 試運転を行う	
■ 確認を行う	
● 異常報知について	
RD6・VD6・MD6 タイプ	
試運転後の作業	22
① ケコミカバーの取り付け	
② ボーダーBの取り付け	
■ 出代の確認・調整(面材タイプのみ)	
■ 設置後の点検(チェックリスト)	23
■ お客様への取り扱い説明	裏表紙

■ や ① などのマークがある項目は、作業の後にチェックを実施してください。

安全上のご注意

設置される方へ

- この製品は、(財)電気安全環境研究所(JET*)より『給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)』の適合証明を受けています。このため、逆止弁等の設置は必要ありません。
- ※厚生省の「給水装置に係る第三者認証機関の業務等の指針」に示された要件を備えた第三者認証機関
- 給水装置工事(配管工事)は、各市町村にて施工承認を受けた後、指定工事業者が施工してください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この取付設置説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 設置終了後[設置後の点検]のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は設置終了後、お客様へお渡しください。
- 設置に関して不明な点がありましたら裏表紙に記載のビジネスユニットへご相談ください。

取付設置説明書に従わなかったために生じた事故・損害については責任を負いかねます。

本書に記載のマークについて



このマークがある項目や手順では必ずチェックを実施してください。



このマークがある作業は電動ドライバーを使わず、必ず手締めしてください。
●電動ドライバーを使用してネジを締め付けると、空回りを起こすことがあります。

特定保守製品に関するお願い

- 本製品は、消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは「経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適切なものとして政令で定めるもの」です。
- 付属の取扱説明書と所有者票(黄色の封筒に入っています)は、必ず特定保守製品取引事業者またはお客様(消費者、賃貸業者等の所有者)にお渡しください。
- 消費生活用製品安全法にて、特定保守製品の所有者は製品の製造・輸入事業者(特定製造事業者等)に対して、所有者情報を提供する義務が定められています。

必ずお守りください

⚠ 警告



- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



- アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アース工事は販売店または電気工事店にご相談ください。
(アース工事費は、本製品の価格には含まれていません。)



- 電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く。
火災の原因になります。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグはコードが下向きになるようにし、コンセントに奥まで確実に差し込む。

- 上向きにするとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火するおそれがあります。

- 定格15 A・交流100 Vのコンセントを単独で使う。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 修理は販売店へご相談ください。



- 火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近付けない。
火災や変形のおそれがあります。



- 水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電のおそれがあります。



- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。

⚠ 注意



- 給水ホース先端を床に落とさない。
落下させると床面がキズ付くおそれがあります。

- 包装を外す時、刃物を使わない。
刃物により製品が損傷し水漏れなどのおそれがあります。

- 元止め式湯沸器には接続しない。
湯沸器からの水漏れのおそれがあります。



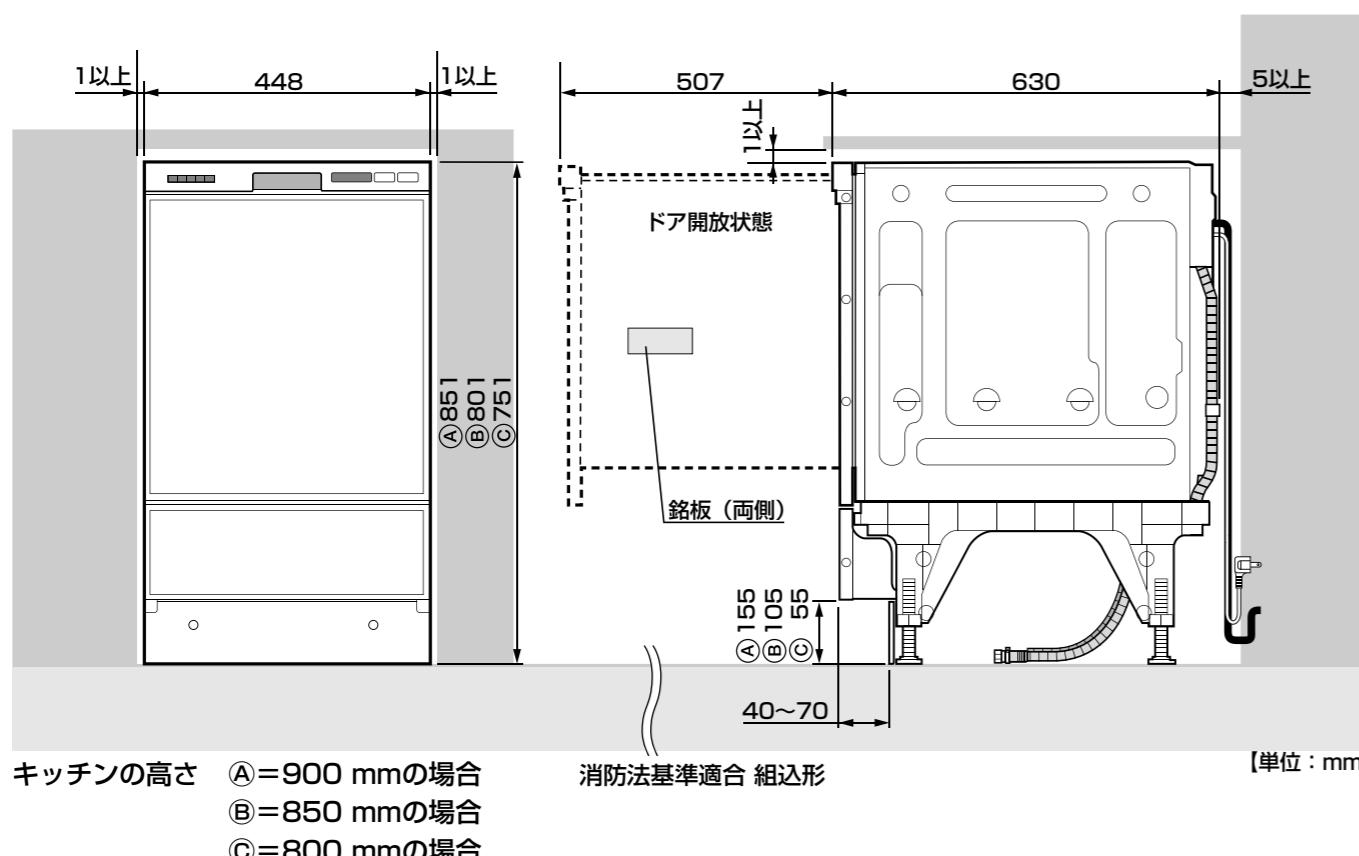
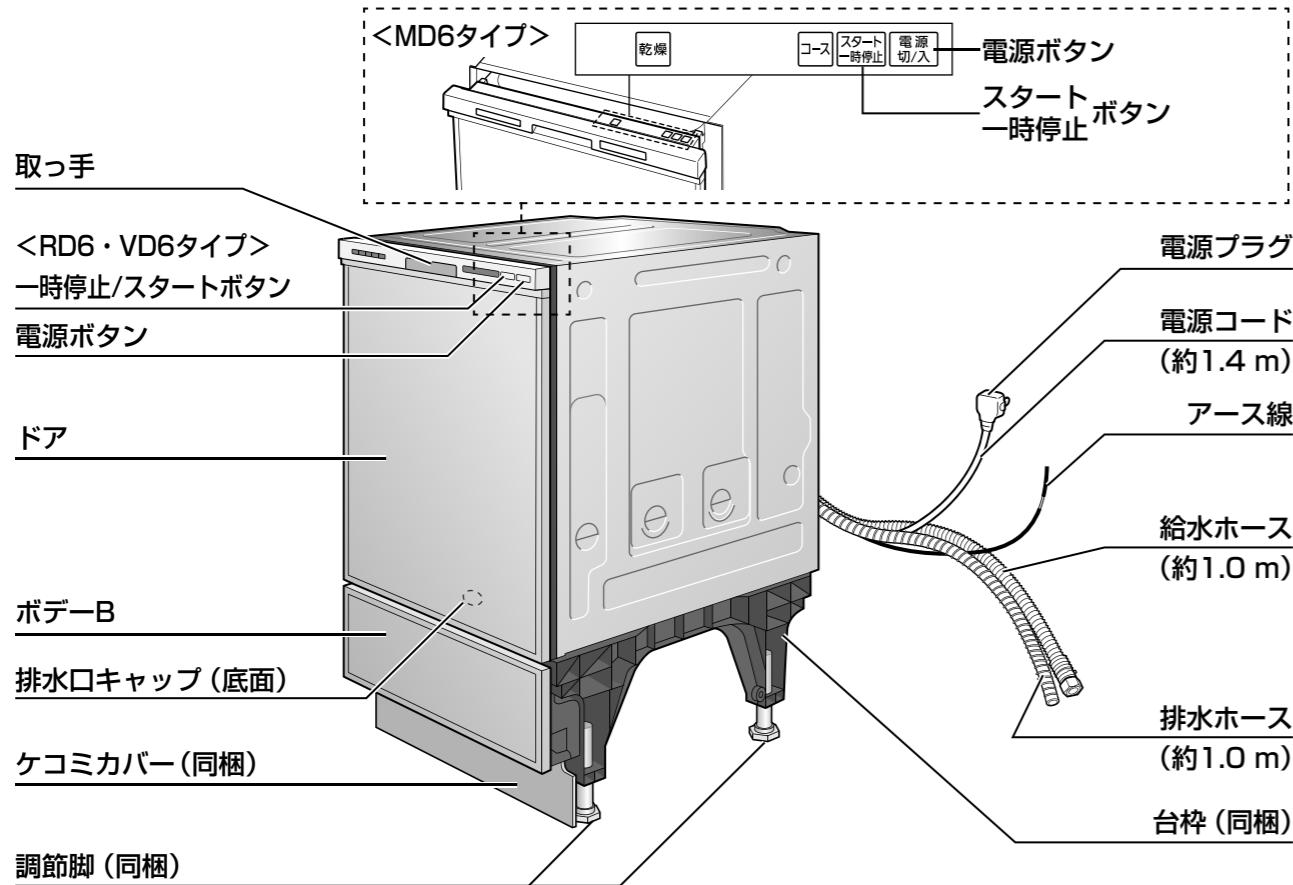
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
感電やショートして発火することがあります。

- 高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける。
水漏れの原因になります。

各部のなまえと寸法

※下図はドア構成がパネルタイプNP-45RD6をベースとしています。
(寸法関係はNP-45VD6タイプ、NP-45MD6タイプ／ドア構成が面材タイプも同様です)

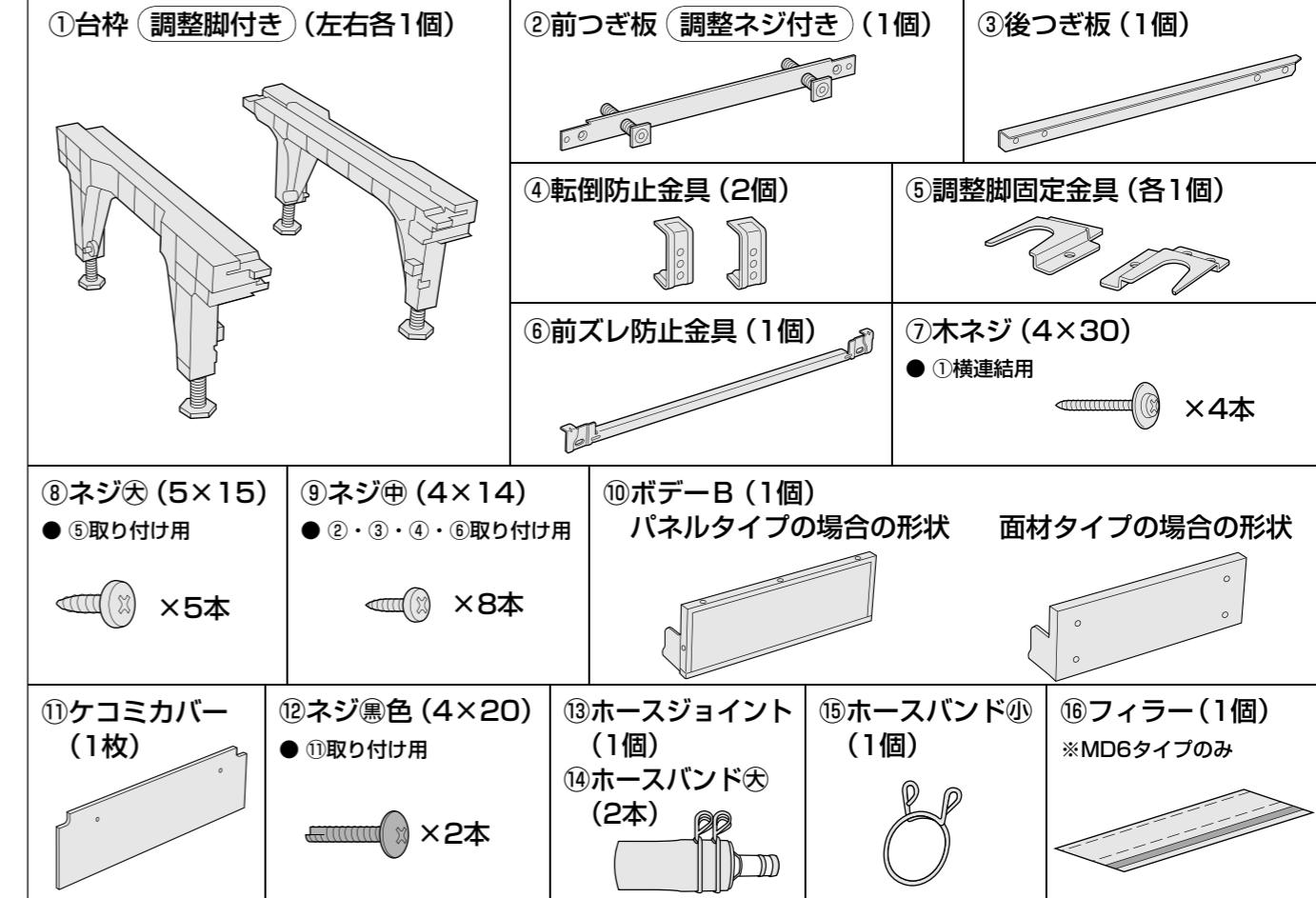
- 本体、かごのテープ、ダンボール、ドア下部の包装部品などはすべて取り外してください。



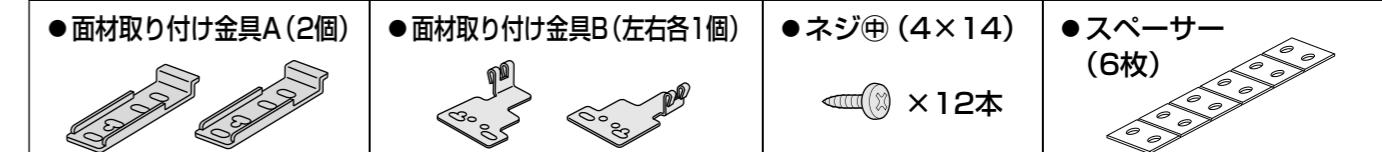
■付属品の確認



設置に必要な付属品



面材タイプ用同梱品



●付属品を使用して、正しく設置を行ってください。製品が外れ、けがをするおそれがあります。

別売品(ドア、ボーダーB用パネルまたは面材)は事前に寸法をご確認ください。

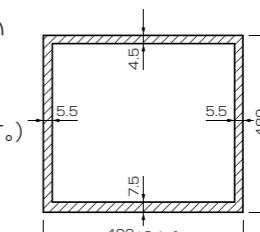
[単位: mm]

■パネル寸法

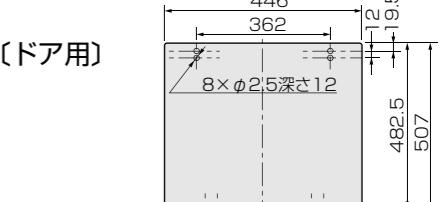
パネルのソリを確認ください。ソリが大きいとセットできない場合があります。

- 幅方向の寸法公差: +0 mm/-1 mm
(433 mm以上ではパネルがセットできない場合があります。)
- 厚みの寸法: 5 mm以下
5 mm以上、7 mm以下の場合は外周(斜線部)の厚みを右図のようにケガキをしてください。

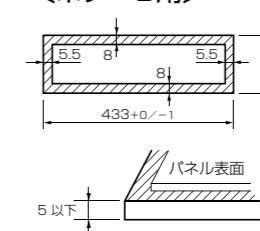
〔ドア用〕



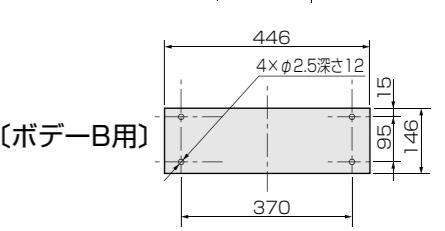
■面材寸法／ネジ下穴寸法 t=15~18



〔ボーダーB用〕

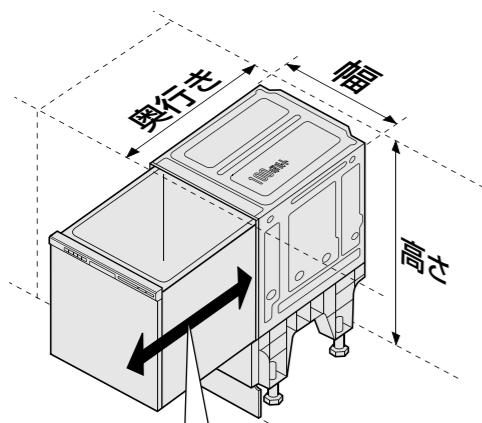


〔ボーダーB用〕



■ 設置場所の確認

※台枠（P.4参照）が設置されることを前提にしています。
※本機設置時は下図の設置寸法をお守りください。（離隔距離0 cmは消防法基準適合）
※本機は奥行き600 mmのキッチンには設置できません。



ビルトイン後も商品メンテナンスのため、本機の前面に750 mm以上のスペースを確保してください。

■ ビルトイン寸法

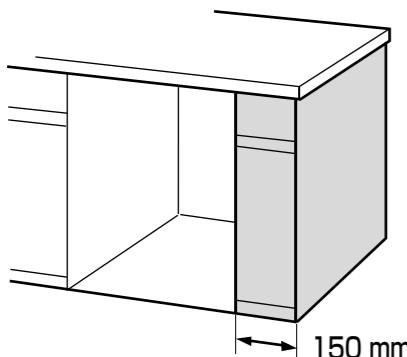
奥行き	650 mm以上
幅	450 mm以上
高さ	キッチンの高さ カウンター下面から設置面までの高さ 900 mmの場合 ▶ 860 mm以上 850 mmの場合 ▶ 810 mm以上 800 mmの場合 ▶ 760 mm以上

お願い

※法令義務により、本機やキッチンの金属部分は、家屋の壁中のラスや金属板に、電気的に接触しないようにしてください。
※法令：電気設備の技術基準の解釈

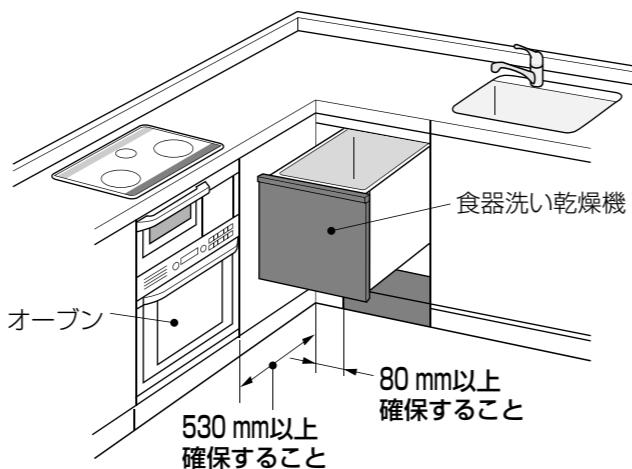
片側がフリーの場合

- ・幅150 mmキャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



L型コーナー部に設置する場合

- ・近接する機器と接触しないよう、本機ドアの開閉スペースを確保してください。

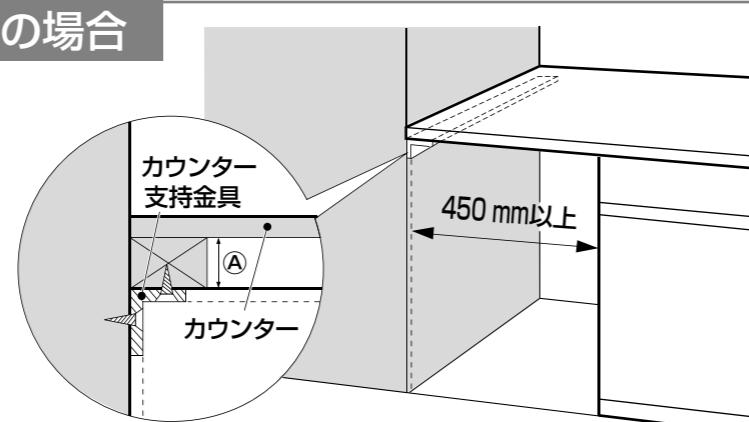


片側が壁面やトールユニットの場合

- ・カウンター支持金具は市販のL金具などを使用します。

※締結ネジの長さは右図のⒶ寸法より5 mm以上短くし、カウンターの金属部に接触させないでください。

※法令：電気設備の技術基準の解釈



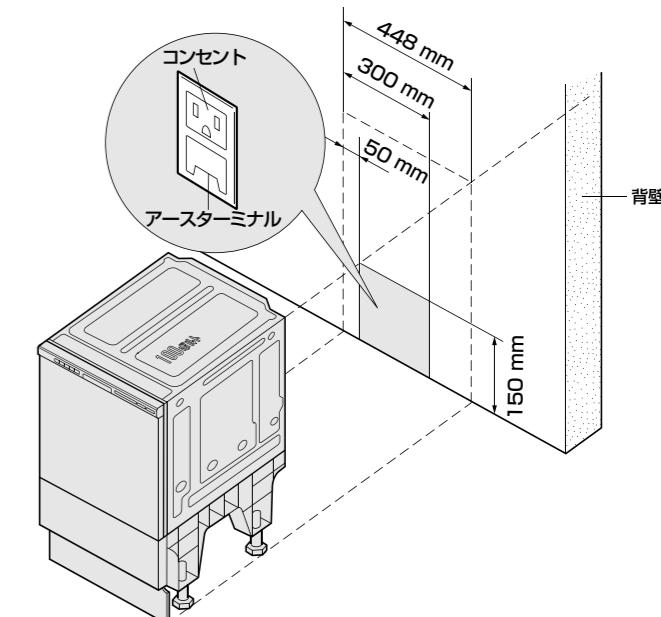
- ・ビルトイン型加熱機器などと並べて設置すると、カウンター上への荷重でたわむ場合があるため、補強処置を施してください。
(市販のL金具などを使用)

電気工事

■ 電気工事を行う

■ 電気工事、アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。

- ・コンセントは定格表示125 V、15 Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。
- ・コンセントは壁面の決められた位置（右図参照）に必ず固定してください。



■ アース（接地）を行う

■ 感電事故防止のため必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。（法令により規定）

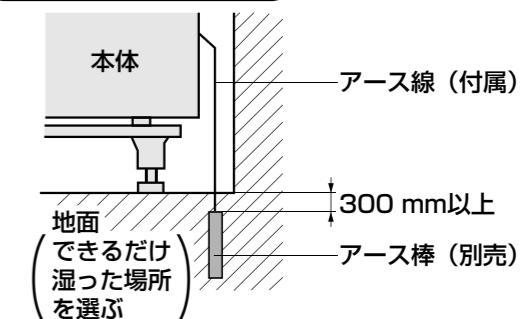
■ ガス管や水道管、電話や避雷針、および漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。（法令により禁止）

■ アース端子付きコンセントは、接地抵抗値（100 Ω以下）をご使用ください。
(接続方法：P.14参照)

■ 設置場所の変更や転居の際は、必ず再度アースを取り付けてください。

※ ご不明な点は販売店または電気工事店にご相談ください。

アース棒を使用の場合



漏電しゃ断器の設置について

万一のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに設置する必要はありません。

漏電しゃ断器 — 住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

(例) 品番 (パナソニック) BJS 203

定格電流20 A、感度電流30 mA
(AC100-200 V両用)

既設分電盤の分岐安全ブレーカーH B型と同一サイズです。
取り替えて、そのまま専用回路の漏電保護ができます。

給水・排水工事

■ 給水・排水工事を行う



■ 本機が使用できる水道水圧は0.03~1 MPa {0.3~10 kgf/cm²} ですが、配管の状態による圧力上昇に備え、0.6 MPa {6 kgf/cm²} を超える場合は減圧弁を取り付けてください。

■ 本機は(財)電気安全環境研究所(JET)より「給水装置の構造及び材質の基準(厚生省令)」に適合するとの証明を受けているため、給水装置への接合に際し逆止弁等の設置は必要ありません。

《各市町村の条例等により逆止弁を取り付ける際、本機の配管近傍にシングルレバー水栓がある場合》

● シングルレバー水栓の配管に減圧弁か、ウォーターハンマー防止器を取り付ける。

● 本機の配管に減圧弁を取り付ける。
(水栓急閉時のウォーターハンマー現象により、逆止弁下流側の本機や本機の配管に異常な高水圧がかかり、本機の故障や水漏れの原因となるため。)

■ 本機は配管直結タイプのため設計／施工工事の段階で給水・排水の位置決めを正確にしてください。

● 給湯(給水)管は硬質塩化ビニルライニング鋼管(相当品)を使用し、断熱材を巻いてください。(給湯の場合は必ず耐熱配管にしてください。)

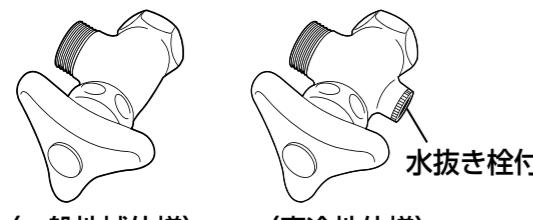
● 排水横枝管に至るまでの接続部分(チーズ)も耐熱塩化ビニル管(HT相当品)を使用してください。

● 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。

● 給水配管・排水配管の端面はバリのないよう処理し、管内の異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。

● アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)を必ず取り付けてください。

・落としゴマタイプは使わない。(ゴトゴト音の原因)
・止水栓は閉じた状態で、出口は床面と平行にしてください。

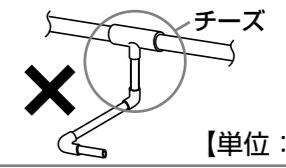


〈一般地域仕様〉 〈寒冷地仕様〉
アングル型止水栓

※凍結が心配される地域に設置される場合は水抜き弁を有した寒冷地仕様の止水栓を取り付けてください。

配管例 ※印寸法は必ずお守りください。(排水ホース折れ、排水不良の原因)

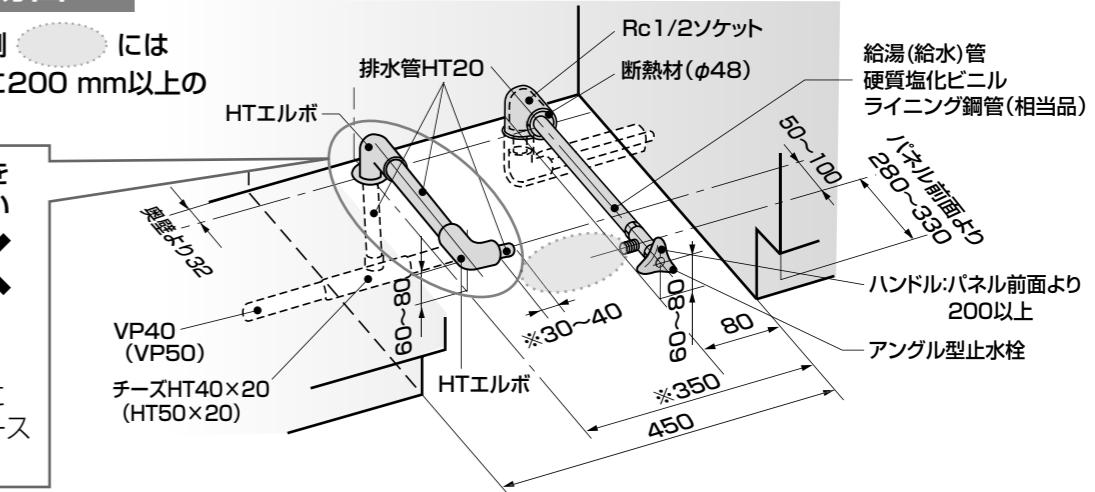
- 下記配管例以外の施工をする場合は裏表紙に記載のビジネスユニットにご相談ください。
- チーズを下向けにしないでください。(汚水が逆流し水漏れのおそれ)



【単位: mm】

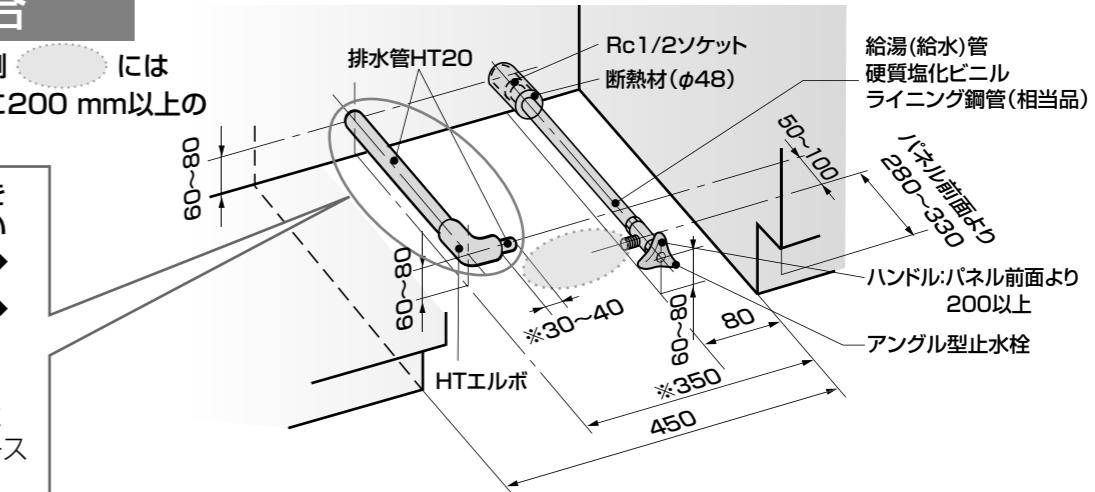
床立上げの場合

止水栓接続部の左側には給水ホース接続用に200 mm以上の空間が必要です。



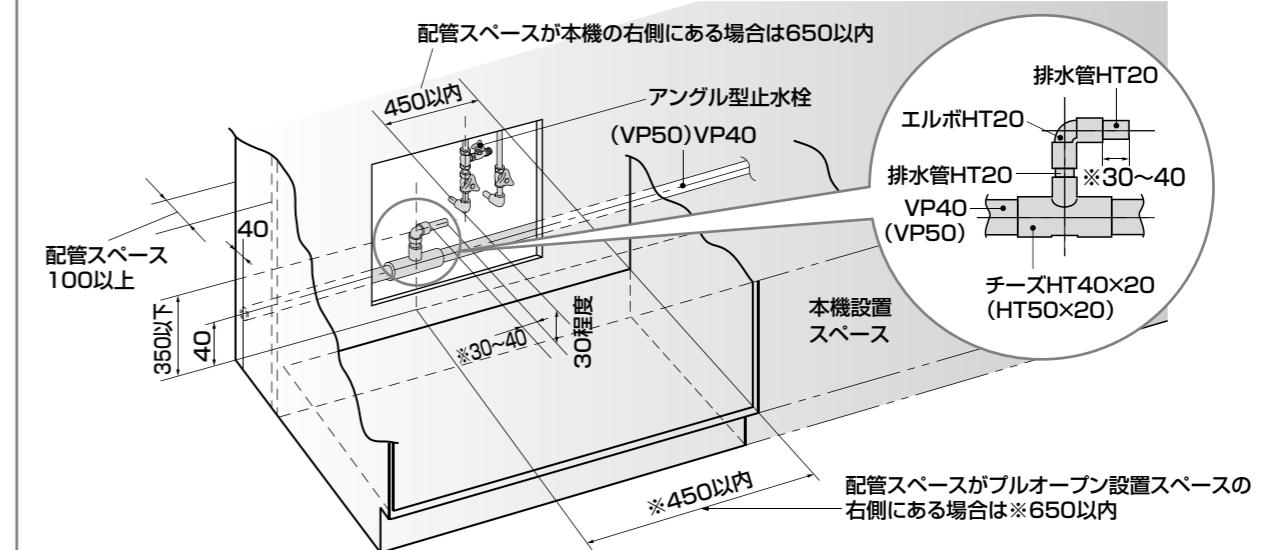
壁出しの場合

止水栓接続部の左側には給水ホース接続用に200 mm以上の空間が必要です。



床ころがしの場合

近接するシンクの背面に点検口と配管スペースがある場合

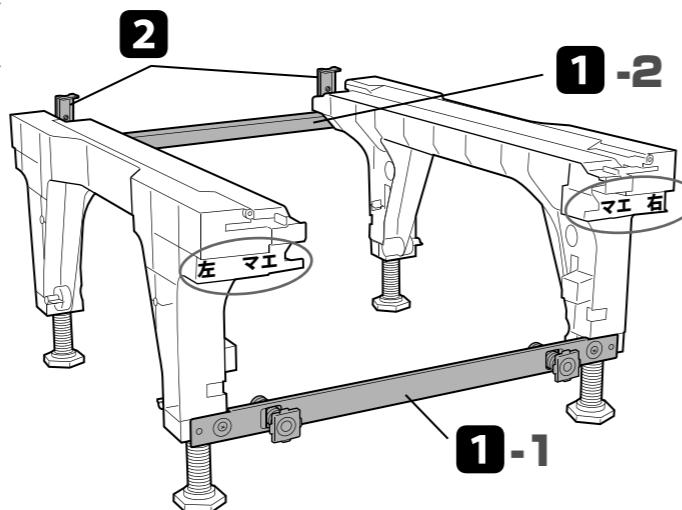


● 給水ホースが止水栓に当たる場合はフレキシブルホース(現地調達品)などを使用してください。

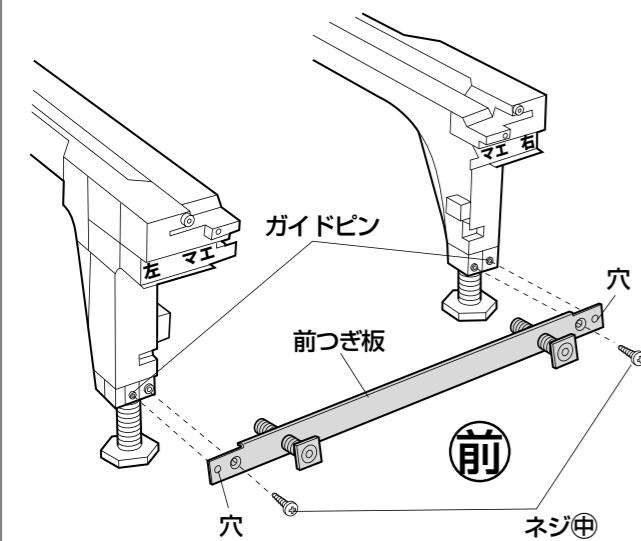
設置手順

1 台枠の組み立て

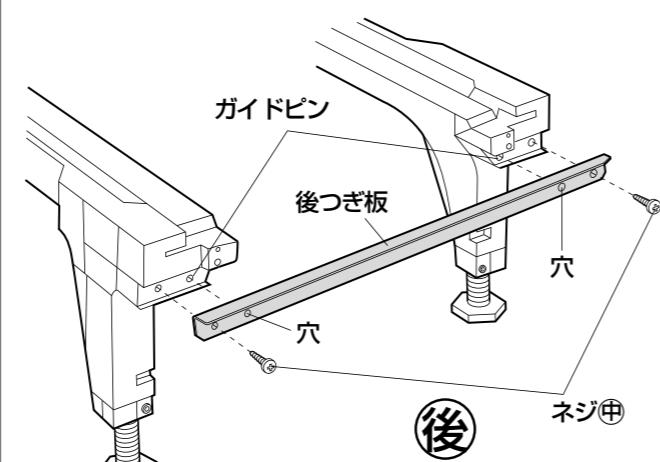
- 台枠の刻印（左マエ、マエ右）で前後、左右を確認してください。



- 1** 台枠のガイドピンに前つぎ板の穴を合わせ、ネジ^④（2本）で取りつける。

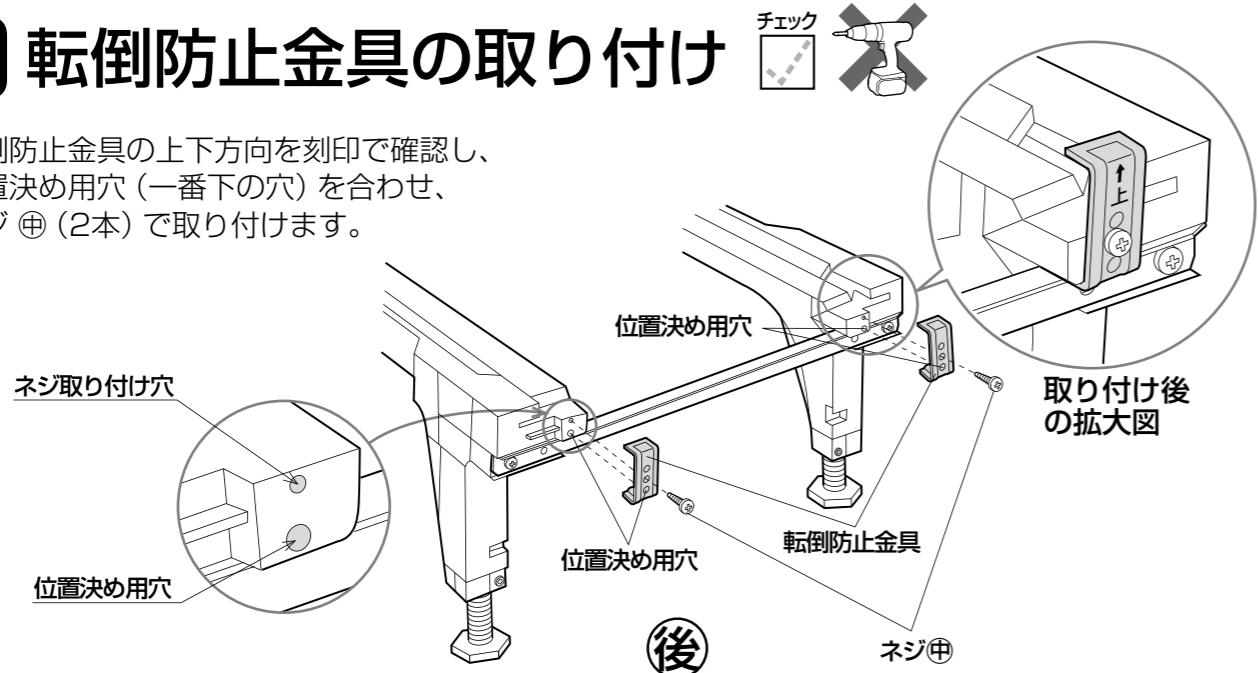


- 2** 台枠のガイドピンに後つぎ板の穴を合わせ、ネジ^④（2本）で取りつける。



2 転倒防止金具の取り付け

- 転倒防止金具の上下方向を刻印で確認し、位置決め用穴（一番下の穴）を合わせ、ネジ^④（2本）で取り付けます。



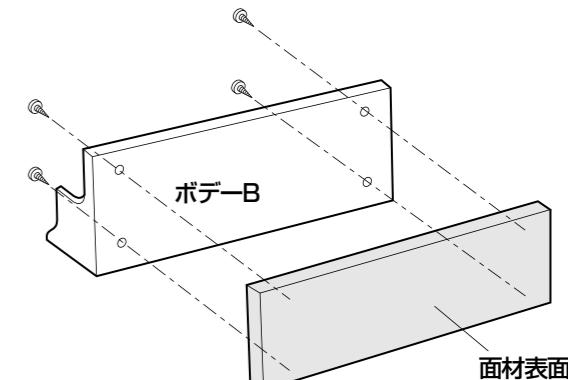
3 面材・パネルのボーダーBへの取り付け



面材タイプの場合

〈面材は別売品です：寸法（P.5参照）〉

- ボーダーBの4か所の穴に面材下穴を合わせ、同梱のネジ^④4本で固定します。

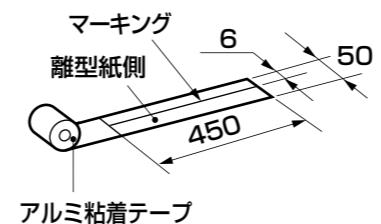


パネル（化粧板）タイプの場合

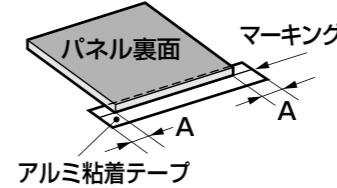
〈パネルは別売品です：寸法（P.5参照）〉

防水処理

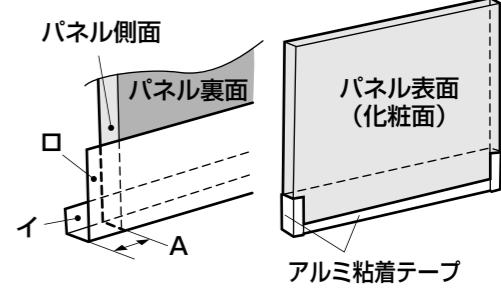
取り付け前にパネル（ドア・ボーダーB）の下部木口面の防水処理を行ってください。
イラストはドア用パネルです。ボーダーB用パネルも同じ手順で行ってください。



- 1) 幅50 mmの離型紙付
アルミ粘着テープ（市販）
を450 mmにカットし、
鉛筆などで幅6 mm*の
位置にマーキングする
※Aは9 mm*以下に



- 2) 離型紙をはがし、マーキング
跡にパネル表面側（化粧
面）下端を左右均等出代A
になるように貼り付ける
※Aは9 mm*以下に



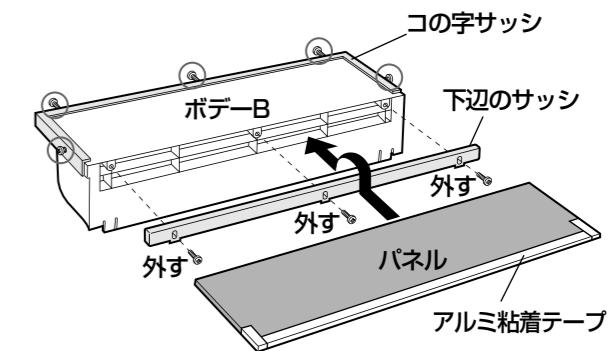
- 3) パネルを垂直に立て、コーナー処理
を行う
①出代Aのイ（短辺）を口（長辺）に
接着する
②口（長辺）をパネル側面から表面
(化粧面)へ巻き込むように折り
曲げて貼り付ける
③シワを押さえてきれいに仕上げる

*外観に影響するためテープが破れた場合は必ずやり直してください。

- 1** コの字サッシのネジ（5か所）をゆるめ、下辺のサッシのネジ（3か所）を外す。

- 2** コの字サッシを持ち上げ、すき間から
パネル*を差し込む。
＊防水処理した側を下に

- 3** コの字サッシのネジを締め付け、下辺の
サッシをネジで取り付ける。
(サッシに段差が出ないよう調整しながら
締め付けてください。)



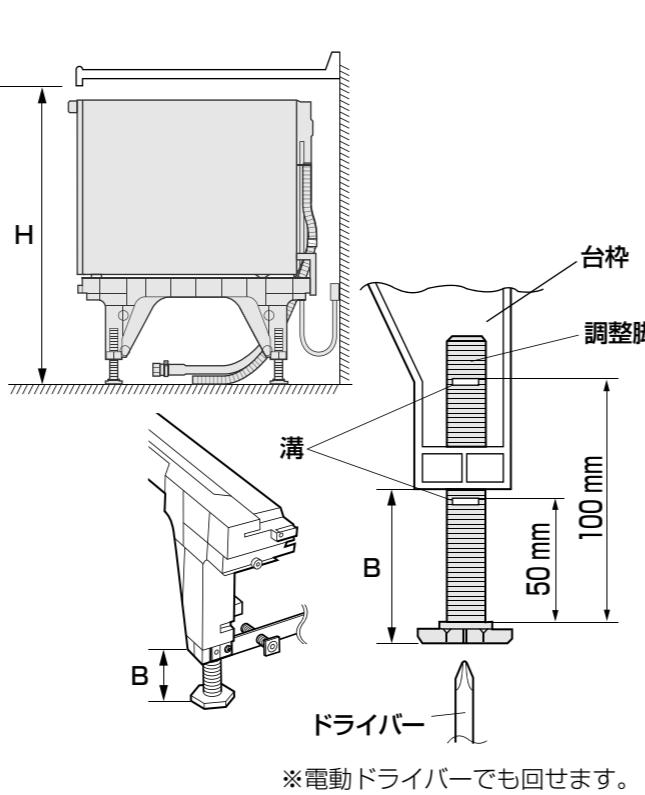
4 台枠の高さ調整

- 本機を設置するキッチンの高さに応じて、台枠の調整脚の出代の調整を行ってください。
- 調整脚には、出代50 mmと100 mmの位置に溝があります。

1 カウンタ下面より設置面までの高さ「H」を測定する。

2 調整脚の出代「B」を次の式で求める。
 $B = H - 742$

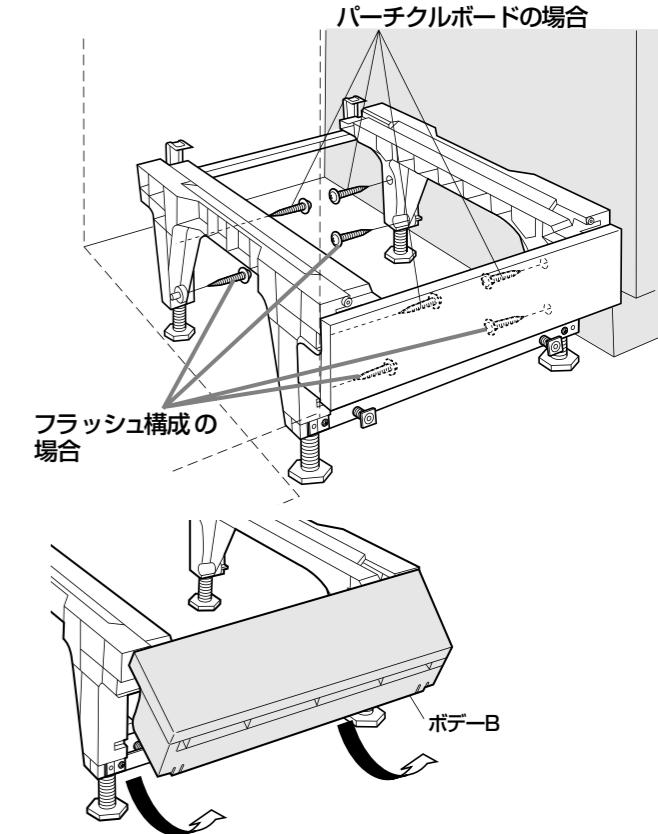
3 調整脚を回転させて「B」寸法になるように出代を調整する。



3 同梱の木ネジ(4本)で台枠を隣接するキャビネットの側板に締め付け固定する。

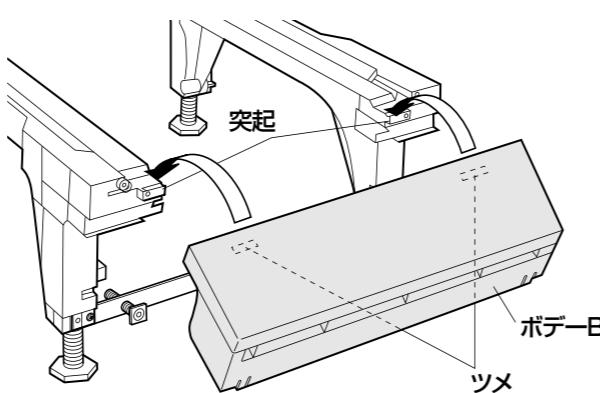
- キャビネットの側板が
- ・パーチクルボードの場合 : 上の穴
 - ・フラッシュ(中空)構成の場合 : 下の穴
- で締めてください。

※片側に加熱機器などがある場合:
 下記「片側が加熱機器などの場合」参照



5 台枠の設置

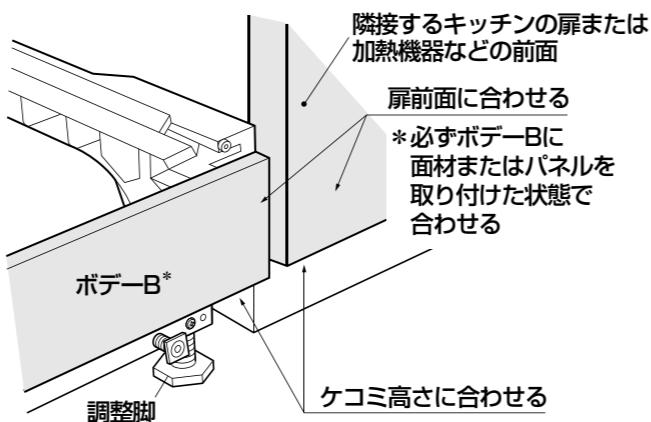
- 1 面材またはパネルを取り付けたボデーBのツメを台枠の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付ける。



2 台枠を設置スペースにビルトインし、ボデーBの位置を調整する。

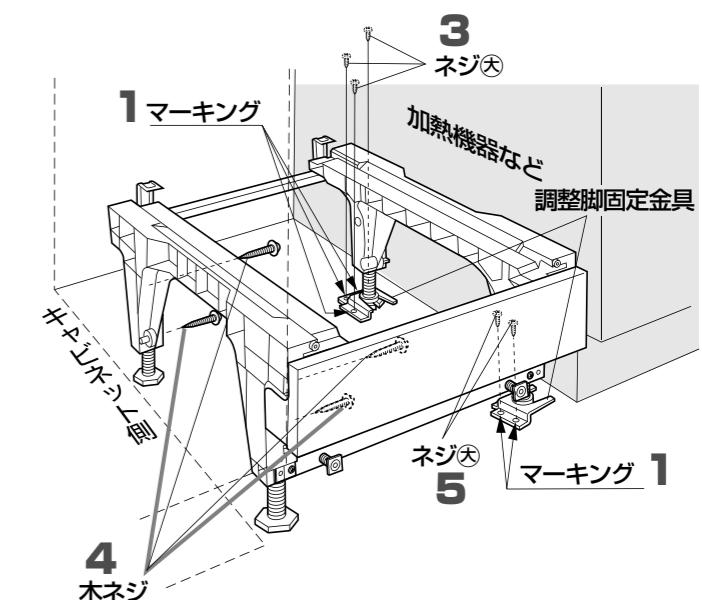
- 前面：面材またはパネル前面を隣接するキッチンの扉前面に合わせる。
- 下面：調整脚でキッチンのケコミ高さに合わせる。

(水準器などを用いて、前後方向、左右方向に傾きがないように調整してください。)

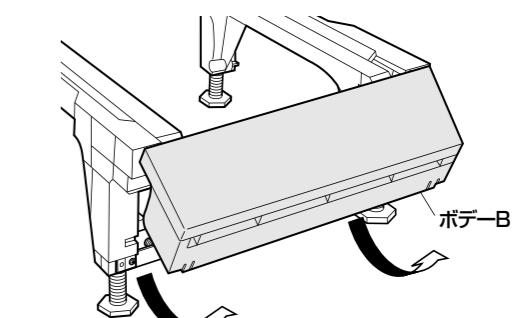


4 ボデーBの下辺部を手前に引き、台枠から取り外す。

- ボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。



キャビネットの側板が
 ・パーチクルボードの場合 : 上の穴
 ・フラッシュ(中空)構成の場合 : 下の穴



6 ボデーBの下辺部を手前に引き、台枠から取り外す。

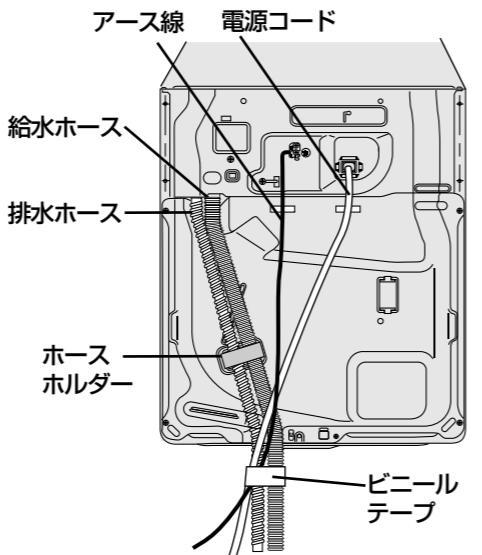
- ボデーBは「試運転」終了まで取り外した状態にしておきます。

6 コード類の束ね

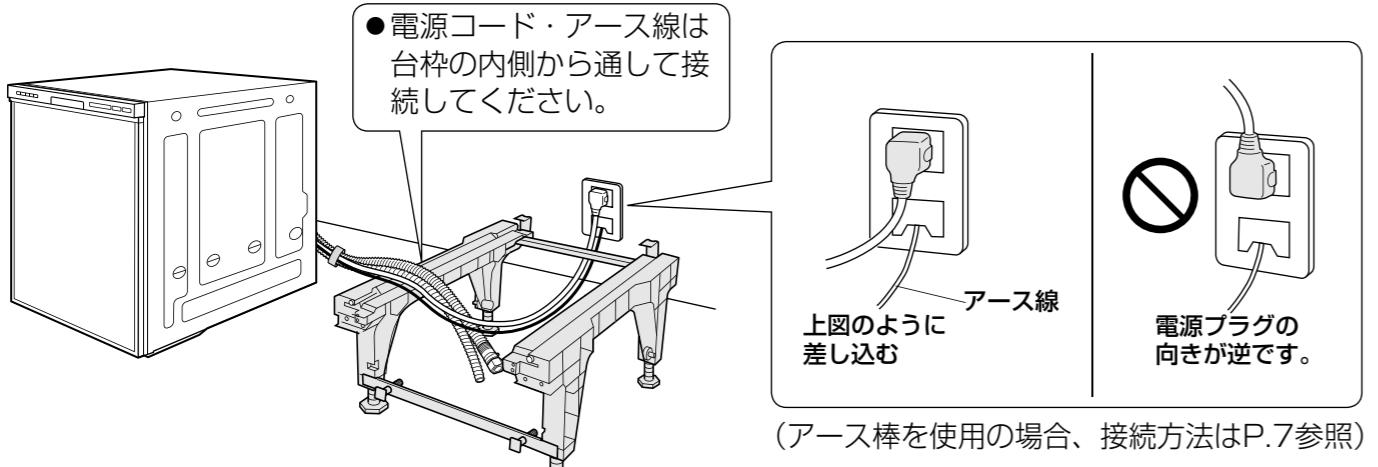
1 本体背面のホースホルダーなどを外し、給水ホース・排水ホースを下向きにする。

2 ホースホルダーの下の位置で各ホース、コード類をビニールテープで束ねる。

※電源コードやアース線が転倒防止金具にかみ込まれないようにするため、必ず行ってください。



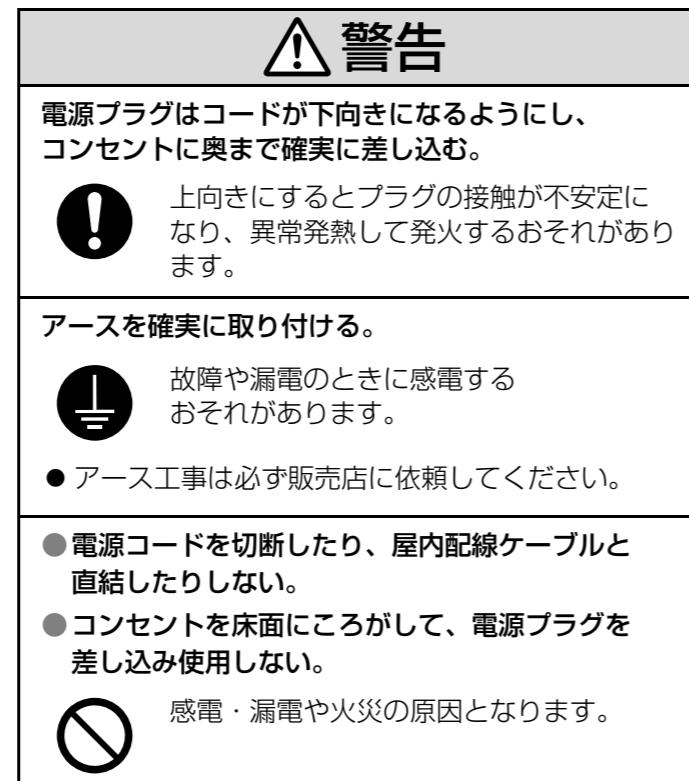
7 電源コード・アース線の接続



1 電圧が100 Vであることを確認してから、埋込みコンセントに電源プラグを差し込む。

●200 V電源に差し込むと、瞬時に故障します。

2 アース線をアースターミナルに接続する。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には、絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)



8 フィラーの取り付け (MD6タイプのみ)

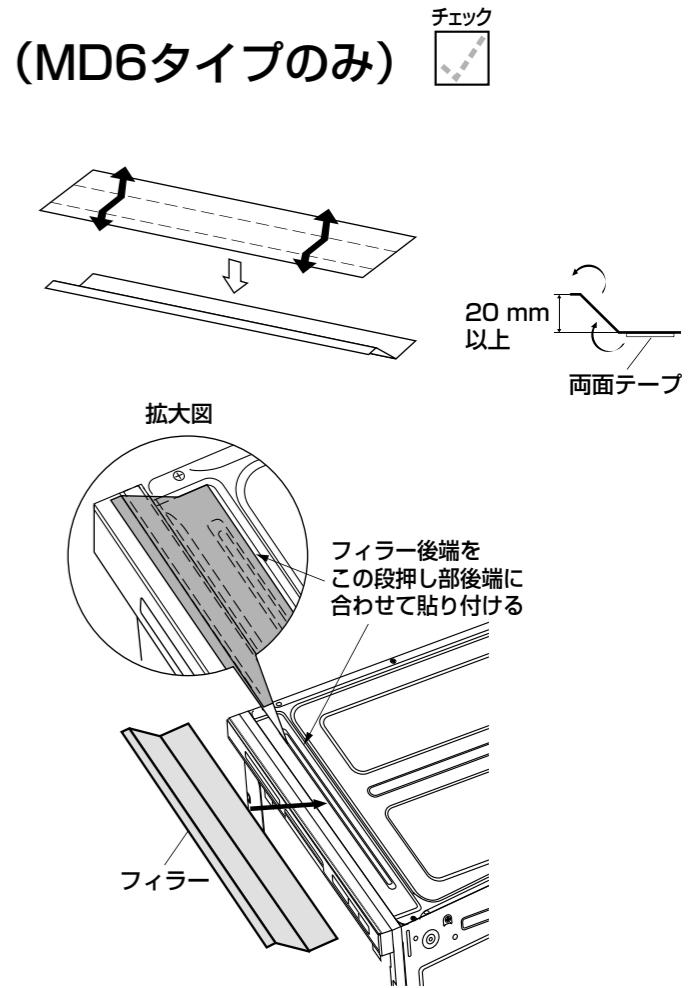
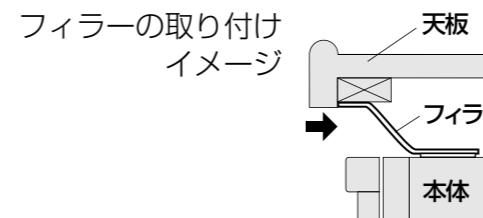
※機器上部に引き出しを設置するなど、キッチンへの設置状態によってはフィラーを取り付けない場合もあります。

1 フィラーの折り目(ミシン目)に合わせて図のように折り曲げ、下部の両面テープの離型紙をはがす。

2 本体天面にある段押し部にフィラー後端を合わせ、左右均等になるように貼り付ける。

●本体からはみ出さないように貼り付けてください。

3 本体ビルトイン後にフィラーが前側にはみ出さないように天板形状に合わせてフィラーを天板前面部に押し込む。



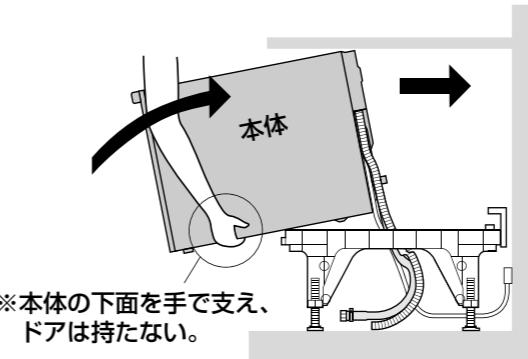
9 本体のビルトインとホースジョイントの接続

! 警告

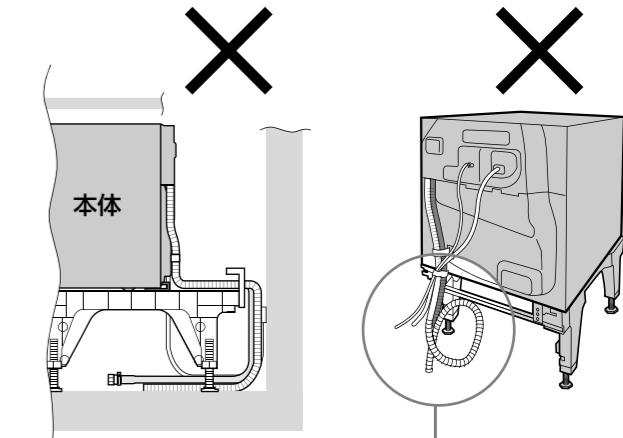
ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水ホースに傷をつけない。
 感電・漏電・火災や水漏れの原因となります。

電源コードを転倒防止金具や本体の底面や脚との間に挟み込まない。
 感電・漏電や火災の原因となります。

1 本体の後脚を台枠に乗せ、台枠の上をすべらせながら押し込む。



※本体の下面を手で支え、ドアは持たない。



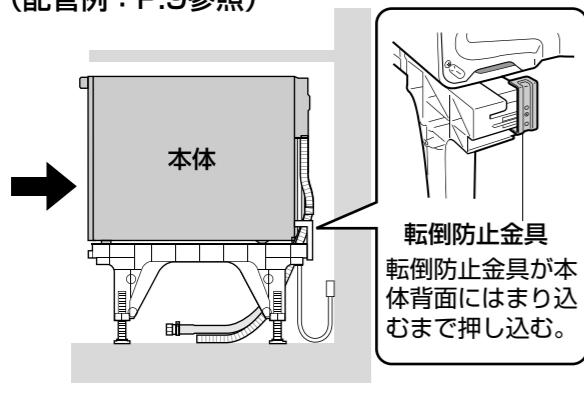
給水ホース・排水ホースは後つぎ板の後方を通さないでください。
※給水ホース・排水ホースが傷つくおそれがあります。

排水ホースのループ巻き接続はしないでください。
※排水が充分にできません。

2 本体の前脚が台枠に乗ったら、隣接する機器などに注意し、ドア中央下部をゆっくり押してビルトインする。

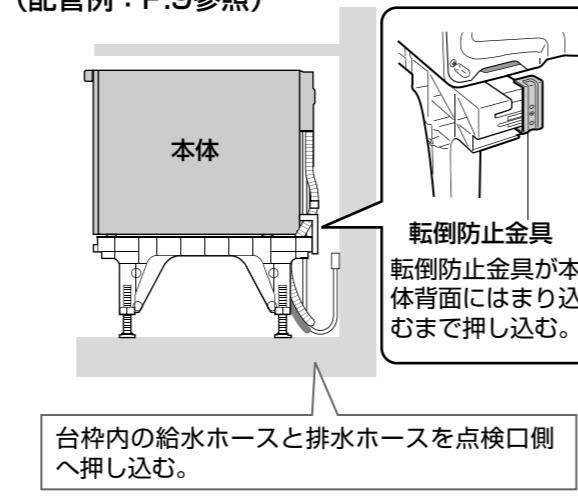
床立上げ、壁出しの場合

(配管例：P.9参照)

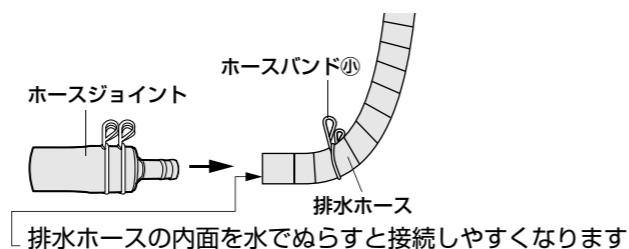


床ころがしの場合

(配管例：P.9参照)

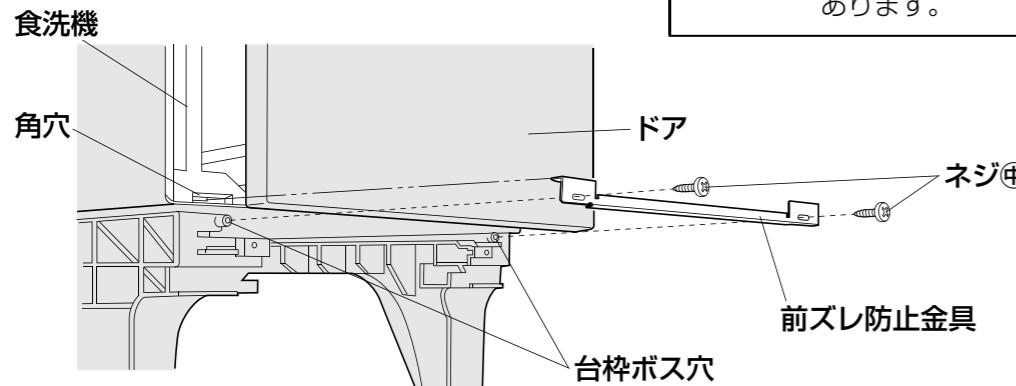


3 排水ホースの先端に同梱のホースジョイントを奥いっぱいまで挿入し、ホースバンド①で止める。



10 前ズレ防止金具の取り付け

1 ドアを少し引き出し、同梱の前ズレ防止金具を食洗機前面下部の角穴にはめ込み、同梱のネジ①(2本)で台枠ボス穴に固定する。



△ 注意

必ず前ズレ防止金具を取り付ける。



ドアの開閉などにより製品が前へ動き、台枠より落下し、けがをするおそれがあります。

11 ドアへの面材の取り付け



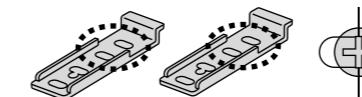
面材タイプの場合

<面材は別売品です：寸法 (P.5参照)>

1 面材取り付け金具A、Bをネジ①(8本)で固定する。

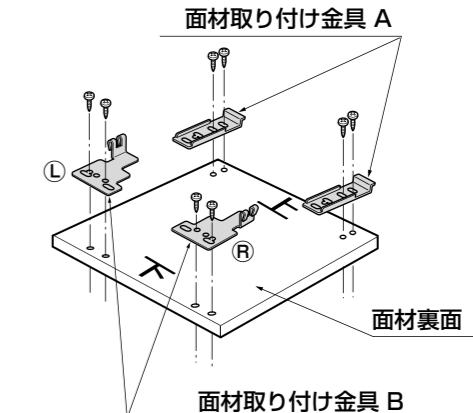
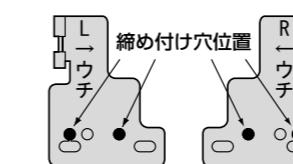
●面材取り付け金具A

・2コの長穴の中心で締め付ける。

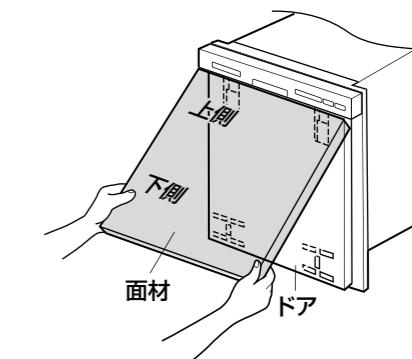


●面材取り付け金具B

・刻印の矢印を内側に向ける。
・図の2か所の穴で締め付ける。



2 面材裏面の取り付け金具をドアの穴位置に合わせ、上側、下側の順でドアにはめ込む。



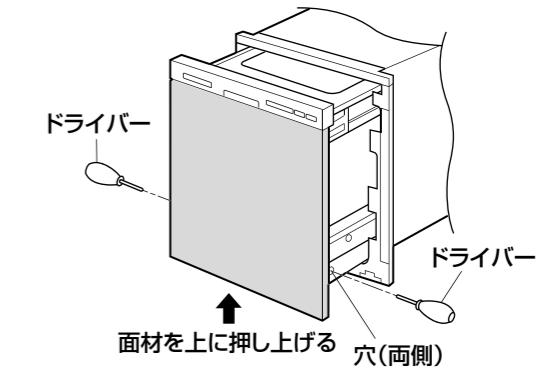
3 ドアを少し引き出し、面材を押し上げた状態で左右の穴から①ドライバーで締め付ける。(面材の傾きに注意)

△ 注意

必ず左右のネジを締め付ける。



面材が落下し、けがをするおそれがあります。



4 面材が確実に固定され、外れないことを確認する。

■面材を取り外す場合：2～3を逆の順序で行う。

パネル(化粧板)タイプの場合

<パネルは別売品です：寸法(P.5参照)>



- 1** ドアを少し引き出し、サッシの左右6か所、下辺3か所のネジを外す。
●図中☆印の長いネジ2本は、取り付けの際も☆印と同じ位置にご使用ください。
●上辺のサッシを外す際は、取っ手部を押し上げながら手前に引いてください。

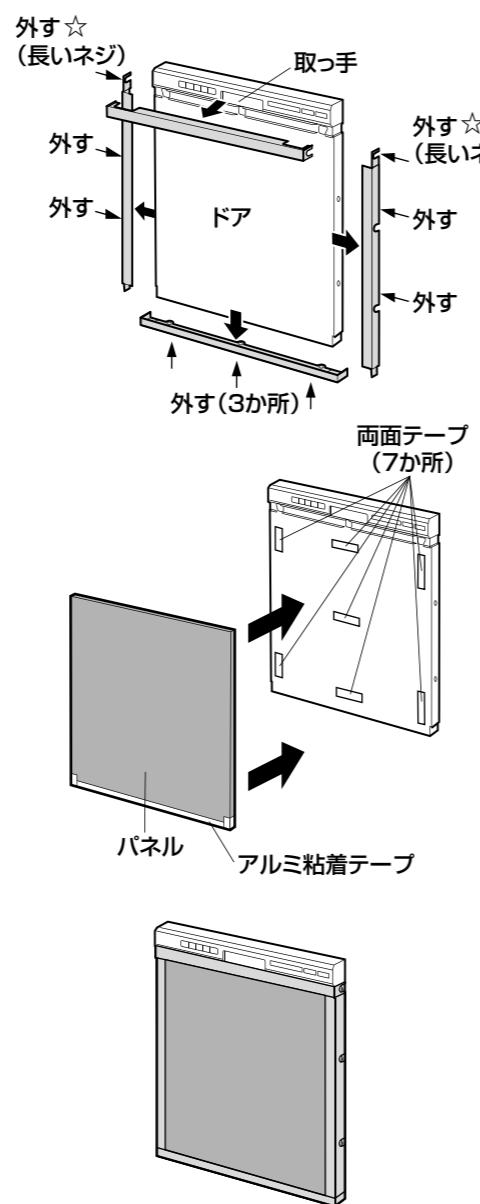
- すべてのネジを外さないとパネルは取り付けられません。

- 2** 防水処理を施したパネル(P.11参照)をドア下辺の端面に合わせる。(防水処理した側を下に)
●パネルの厚みで浮く場合は、両面テープで(現場調達品)ドアに仮付けしてください。

- 3** ①下辺のサッシを3か所のネジで仮止めする。
②左右サッシ下部のツメを下辺のサッシに差し込み4か所のネジを仮止めする。
③パネルを押さえつけながら下辺3か所、左右4か所の順にネジを締め付ける。

- 4** 上辺のサッシを正面から差し込み、側面から長いネジで締め付ける。

- サッシを無理に広げないでください。サッシが破損するおそれがあります。



12 給湯(給水)管との接続・排水ホースの接続

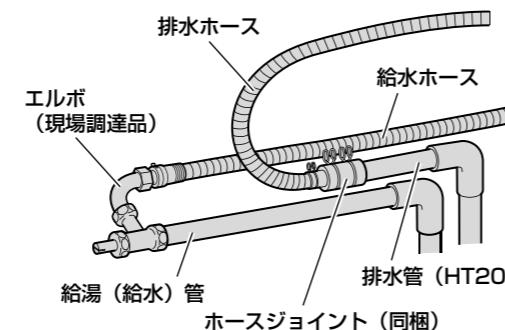


フロントオープンタイプの食洗機から買い替えの場合

- 右図のように既設の給湯(給水)管や排水管(HT20)を使用して、本機の給水ホース・排水ホースに無理な力がかからないように接続することも可能です。

〈床立上げ・壁出し・床ころがし共通〉

- 給水ホース接続時はエルボ(現場調達品)などを使用して接続してください。

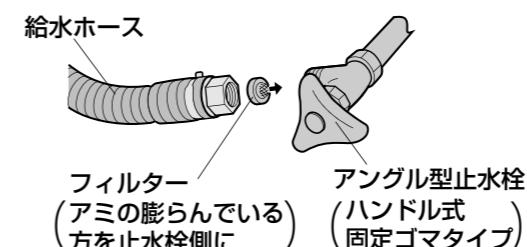


新たに食洗機を設置・接続する場合

床立上げ、壁出しの場合(配管例:P.9)

1 給湯(給水)管と接続する

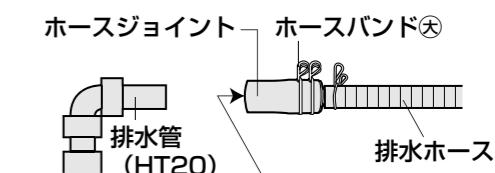
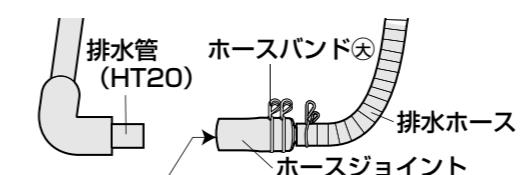
- アングル型止水栓(ハンドル式、固定ゴマタイプ)にフィルターを入れ給水ホースを確実に接続します。(フィルターは給水ホースにセットされています。)(下図参照)
※ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらいい締め付けてください。
適正締め付けトルク: 5~10 N·m {50~100 kgf·cm}
※市販のスパナなどで締め込みます。



床ころがしの場合(配管例:P.9)

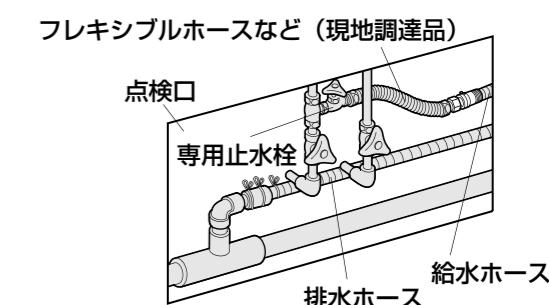
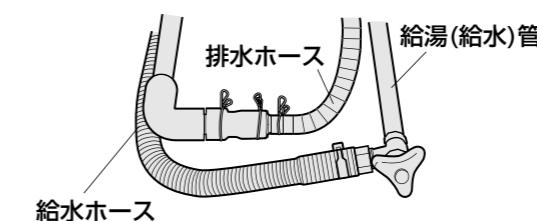
2 排水ホースを接続する

- 排水管(HT20)にホースジョイントを接続し、ホースバンド④で止めます。
このとき排水ホースは給湯(給水)管や、給水ホースの上を通してください。
※排水ホースに折れや、ねじれがないことを確認してください。



ホースジョイントの内面を水でぬらして作業すると接続がしやすくなります。

完成(イメージ)



- ホースバンドが正しく取り付けられているか確認してください。
●排水ホースに折れや、ねじれ、たるみがないことを確認してください。

注意

給水ホースおよび排水ホースは切断しない。

水漏れの原因となります。



給水ホースを床面に落下させない。

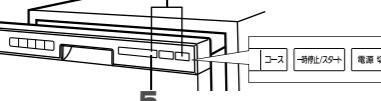
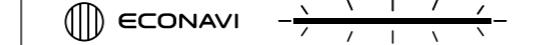
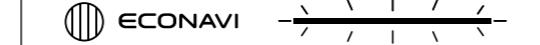


給水ホースは重量物です。落さるとケガをしたり床面がキズ付くおそれがあります。

試運転

■ 試運転を行う チェック

- 電源が入ること、元水栓・止水栓が開栓していることを確認してください。
- 試運転は約3分で終了し、電源が切れます。(表示が消灯)
- ※通電、通水が不可状態で試運転が行えない場合は、必ず通電、通水可能後に試運転を行ってください。
(ドアを開けて、水や湯を入れない)

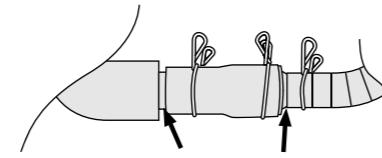
RD6・VD6タイプ		MD6タイプ
<p>1 止水栓を開く。</p>  <p>3、4</p>  <p>5</p>	<p>1 止水栓を開く。</p>  <p>40 60 90分 送風 ドライバー 乾燥 標準 強力 予約 コース スタート/停止 電源 切/入</p> <p>ECONAVI</p>	
<p>2 ドアを閉じる。</p> <p>3 「コース」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを押す。</p> <p>4 「電源」ボタンを離して、「コース」ボタンを3秒以上押し続ける。</p> <p>5 「ピピッ」とブザーが鳴ったら、「コース」ボタンから手を離し、3秒以内に「コース」ボタンを押すと、試運転が開始。</p> <p>試運転中の表示 (青色点灯) </p> <p>※ドアを閉じないと『ピピッピピッ』とブザーが繰り返し鳴ります。(閉じると試運転が開始)</p>	<p>2 「一時停止/スタート」ボタンと「コース」ボタンを押しながら「電源」ボタンを押す。</p> <p>3 ボタンから手を離し、3秒以内に「コース」ボタンを押す。</p> <p>4 ドアを閉じると、試運転が開始。</p> <p>試運転中の表示 (青色点灯) </p> <p>※ドアを閉じないと『ピピッピピッ』とブザーが繰り返し鳴ります。(閉じると試運転が開始)</p>	

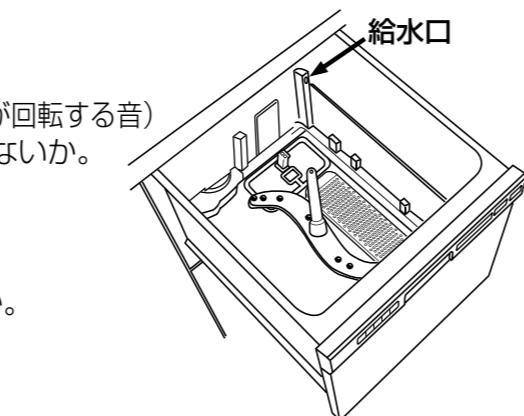
■ 確認を行う チェック

- 【運転中】**
噴射音：正常にバシャバシャ音がするか。
(一定量の水が入り、シャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転する音)
水漏れ：給水・排水の接続部や止水栓、その他からの水漏れがないか。

- 【運転終了後】** (ブザーが鳴り、電源が切れます)
排水状態：ドアを開け、庫内の水が排水されているか。
止水状態：電源が「切」の状態で、給水口から水が出ていないか。

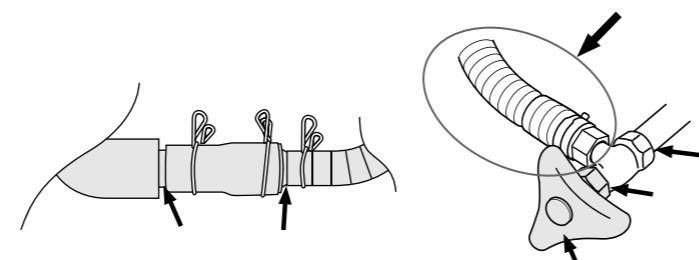
※試運転後は、止水栓を開いたままにしておいてください。
※長期間居住されない場合は、万が一の水漏れ防止のため、必ず家屋の元水栓を閉めてください。

⚠ 注意	
<p>凍結のおそれのある所へ設置するときは必ず水抜き作業を行った後、止水栓を閉める。 止水栓を閉めないと凍結した際に、給水弁を破損して水漏れするおそれがあります。</p>	



イラストはRD6タイプで説明しています。

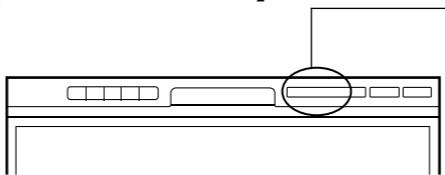
水漏れ確認 (矢印の箇所)



異常報知について

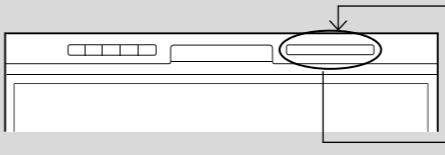
試運転で表示部が点滅しブザーが鳴る場合は、以下の内容を確認・処置後、再度運転を行ってください。

【RD6・VD6タイプ】



表示部	全コースのランプが点滅しているときの表示例です。
RD6タイプ	*節電 *標準 *強力 *予約 *乾燥
VD6タイプ	-節電-少量-標準-強力-予約-乾燥-

【MD6タイプ】



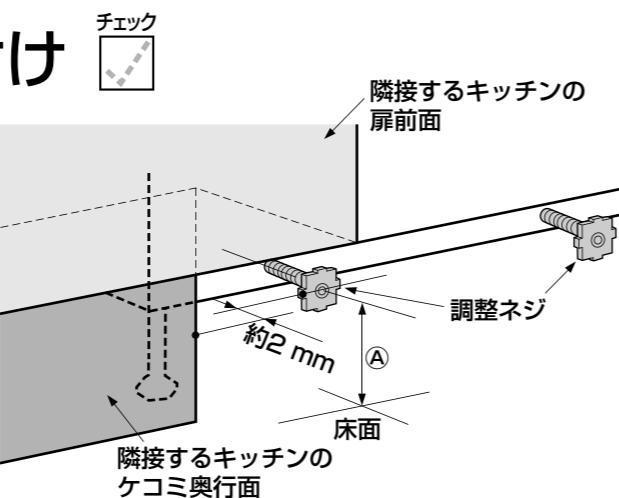
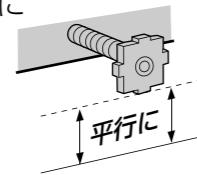
上面部	40 60 90分 送風 ドライバー 乾燥 標準 強力 コース スタート 電源 切/入
前面部	赤色のランプが点滅

表 示	原 因	処 置
【RD6・VD6タイプ】 全コースのランプが点滅	ドア開異常 【RD6・VD6タイプ】 ドアが確実に閉まっていないまま、運転をスタートした。	●ドアを確実に閉めると、運転が始まります。
【MD6タイプ】 上面部：全コースのランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅	【MD6タイプ】 運転をスタートした後、ドアが確実に閉まっていない。	●【MD6タイプ】 前面部：赤色のランプの点滅から青色のランプの点灯を確認
【RD6・VD6タイプ】 節電 標準 強力 のランプが点滅	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついているか確認する。 (折れぐせがついている場合は直す)
【MD6タイプ】 上面部：節電 標準 強力 のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅		
【RD6・VD6タイプ】 標準 強力 のランプが点滅	給水不良 断水や止水栓／水道の元水栓の開け忘れなどで給水ができないため。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は断水の回復を待って運転する。 ●キャビネット内の止水栓および元水栓は必ず開栓する。 ●給水弁先端にあるフィルターの付着物を取り除く。
【MD6タイプ】 上面部：標準 強力 のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅		
【RD6・VD6タイプ】 節電 強力 のランプが点滅	機内の水漏れ不良 本体内から水漏れしている。	①止水栓／水道の元水栓を閉める。 ②電源（ブレーカー）を切る。 ③本体底面の排水口キャップを外して本体内の水を抜く。 (排水口キャップの位置はP.4参照) ④排水口キャップをもとの位置にはめ込む。 ⑤電源（ブレーカー）を入れる。 ※水漏れのおそれがあるため、販売店もしくは裏表紙に記載のビジネスユニットにご連絡ください。
【MD6タイプ】 上面部：節電 強力 のランプが点滅 前面部：赤色のランプが点滅		

試運転後の作業

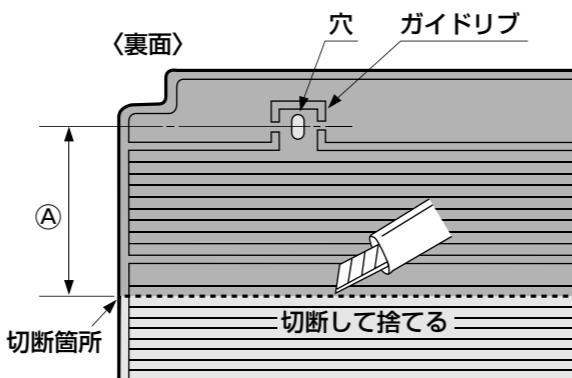
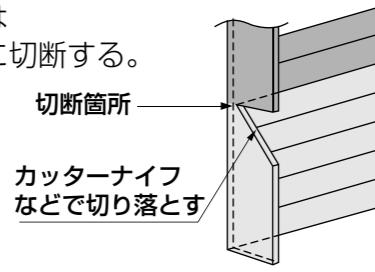
1 ケコミカバーの取り付け

- 1 調整ネジ（左右2か所）の前面が、隣接するキッチンのケコミ奥行面より約2 mm奥まった位置になるように調整する。
 ●このとき調整ネジの頭部の四角の一辺を床面と平行にします。
 （調整ネジは90°まわすごとに出代が1 mm変わります。）

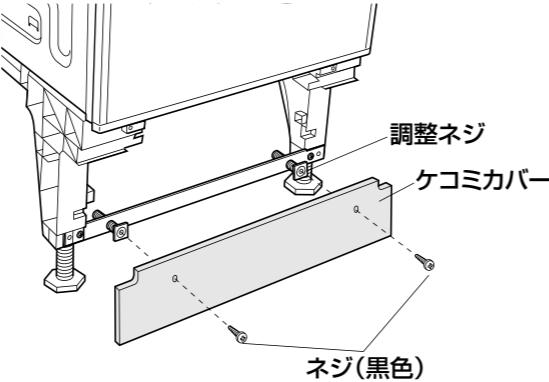


- 2 同梱のケコミカバーを裏面のV溝にそってカッターナイフなどで切断する。
 (キッチン高さにより、切断箇所が異なります。)
 1) 床面と調整ネジの穴の高さⒶを測る。
 2) Ⓐの長さに合わせてケコミカバーを切断する。

●左右のリブは右図のように切断する。



- 3 カッターナイフなどで切断面の端面処理をする。
 (切傷防止のため)

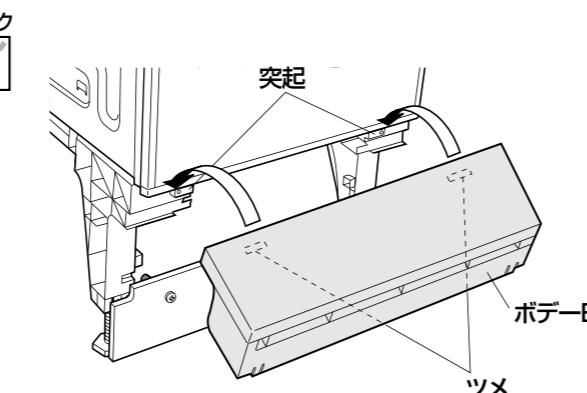


- 4 裏面のガイドリブ（手順2の図参照）に調整ネジの頭部をはめ込み、同梱のネジで締め付ける。

- 必ずビルトイン後にケコミカバーを取り付けてください。床面と接触し浮き上がる原因になります。
- ケコミカバーが浮き上がっている場合は、Ⓐの長さより短めに切断して取り付けてください。

2 ボーダーBの取り付け

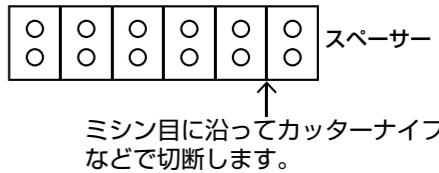
- 1 面材またはパネルを取り付けたボーダーBのツメを台枠の突起にはめ込み、カチッと音がするまで下方を押して取り付ける。



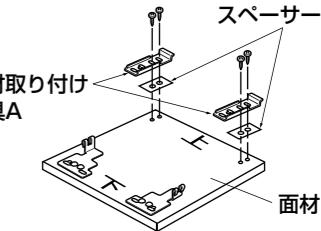
■ 出代の確認・調整(面材タイプのみ)

キッチンのドアと面材が揃っているかを確認してください。

- 面材上部が奥まっている場合
 スペーサーで右図のように調整を行ってください。
 ※調整は1枚(1 mm)までにしてください。

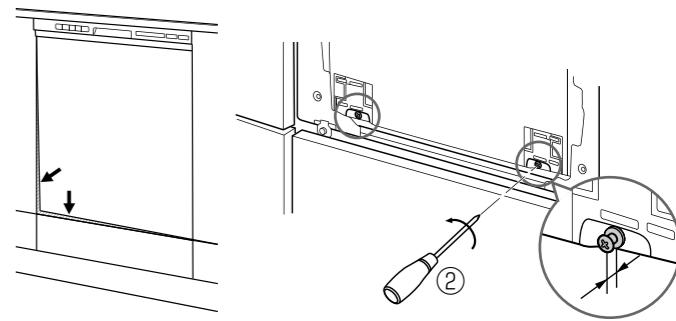


- 面材下部が出っ張っている場合
 背面に電源コードなどが込み込んでいないか確認してください。
- 面材下部が奥まっている場合
 以下の方法で出代の調整を行ってください。



面材下部が隣接扉よりも奥まっている場合

- ① 面材を外す。
 (P.17「ドアへの面材の取り付け」参照)
- ② 本体ドアの下部穴位置にあるネジをゆるめて面材の出代の調整をする。(左右2か所)
- ③ 調整終了後、再び面材を取り付け、外れないことを確認する。



■ 設置後の点検(チェックリスト)

点検	点検内容	参照ページ	チェック
機器及びその周辺	ドアの開閉 他の機器への障害はありませんか。	P.6	
	転倒防止金具 前ズレ防止金具 転倒防止金具及び前ズレ防止金具は取り付けましたか。	P.10 P.16	
給湯(給水)・排水接続	給湯器と接続の場合 指定する給湯器に接続されていますか。	P.8	
	フィルター 給水ホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	P.19	
電気接続	排水管との接続部と確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり無理に折れ曲がったりしていませんか。	P.15、16 P.19	
	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125 V 15 Aのアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか。	P.7 P.14	
試運転	アース線を接続しましたか。 試運転を行い、正常に動作しましたか。	P.14 P.20	

